



団地管理組合法人加古川グリーンシティ  
 管理組合広報委員会  
 グリーンシティ自治会  
 管理事務所 ☎425-6852  
 ホームページ <http://www.greencity.gr.jp/>  
 メールアドレス [kanrikumiai@greencity.gr.jp](mailto:kanrikumiai@greencity.gr.jp)

## 第29期管理組合新体制のご紹介

11月16日(土)午後7時から集会所ホールにて、団地管理組合法人加古川グリーンシティ第28期通常総会が開催され、会場出席37名、議決権行使による委任状出席454名、合計491名の組合員出席のもと、全ての提案議案が承認・可決されました。また、総会終了後引き続いて第29期の第1回理事会が開催され、以下の体制が決定しました。

### 第29期理事会

|             |   |      |       |    |   |
|-------------|---|------|-------|----|---|
| 理事長         | D | 000  | 00    | 00 | 氏 |
| 副理事長(修繕委員長) | D | 000  | 00000 | 氏  |   |
| 〃(広報委員長)    | A | 000  | 00    | 00 | 氏 |
| 〃(自治会担当)    | F | 0000 | 00    | 0  | 氏 |
| 会計          | E | 000  | 00    | 00 | 氏 |
| 書記          | B | 000  | 00    | 00 | 氏 |

### 第29期監事

|   |      |    |    |   |
|---|------|----|----|---|
| B | 000  | 00 | 00 | 氏 |
| D | 0000 | 00 | 00 | 氏 |
| F | 0000 | 00 | 0  | 氏 |

### 第29期防災会

|     |   |     |    |    |   |
|-----|---|-----|----|----|---|
| 会長  | B | 000 | 00 | 00 | 氏 |
| 幹事長 | D | 000 | 0  | 00 | 氏 |

### 修繕委員会

|      |   |      |       |    |   |
|------|---|------|-------|----|---|
| 委員長  | D | 000  | 00000 | 氏  |   |
| 副委員長 | B | 0000 | 00    | 00 | 氏 |
| 委員   | B | 000  | 00    | 00 | 氏 |
|      | C | 000  | 00    | 00 | 氏 |
|      | D | 000  | 00    | 00 | 氏 |
|      | E | 0000 | 00    | 00 | 氏 |
|      | E | 000  | 00    | 00 | 氏 |

### 広報委員会

|      |   |      |    |    |   |
|------|---|------|----|----|---|
| 委員長  | A | 000  | 00 | 00 | 氏 |
| 副委員長 | B | 000  | 00 | 00 | 氏 |
| 委員   | D | 000  | 00 | 00 | 氏 |
|      | E | 000  | 0  | 00 | 氏 |
|      | F | 0000 | 00 | 0  | 氏 |
| 協力委員 | D | 000  | 00 | 00 | 氏 |
|      | D | 0000 | 00 | 00 | 氏 |
|      | E | 0000 | 00 | 00 | 氏 |

### 環境整備委員会

|      |   |      |    |    |   |
|------|---|------|----|----|---|
| 委員長  | F | 000  | 00 | 00 | 氏 |
| 副委員長 | E | 0000 | 00 | 00 | 氏 |
| 委員   | D | 000  | 00 | 00 | 氏 |
|      | D | 000  | 0  | 00 | 氏 |
|      | D | 000  | 00 | 00 | 氏 |
|      | D | 0000 | 00 | 00 | 氏 |
|      | E | 0000 | 00 | 00 | 氏 |

### 情報システム委員会

|     |   |      |    |    |   |
|-----|---|------|----|----|---|
| 委員長 | D | 000  | 00 | 00 | 氏 |
| 委員  | B | 000  | 00 | 00 | 氏 |
|     | D | 000  | 00 | 00 | 氏 |
|     | D | 000  | 0  | 00 | 氏 |
|     | F | 0000 | 00 | 0  | 氏 |



今後一年間新たな気持ちで頑張りますので、居住者の皆様のご協力をお願いします。

## 修繕委員会からのお知らせ

今年度も給水設備更新工事をはじめ色々な修繕工事に、居住者の方々のご理解とご協力のおかげで無事に工事が遂行できました事、まことにありがとうございました。29期(来年)も右記の内容にて修繕工事を進めて行く予定です。今年同様、ご理解とご協力をお願いします。

＜29期工事予定＞

1. A棟・EF棟間(ファイヤーレーン) E棟南プレイロットの瓦景観舗装工事
2. 来客駐車場設備更新工事
3. 西側チェーンゲート更新工事
4. 排水管立管劣化状況調査

防災井戸コミュニティ広場  
イルミネーション点灯



## やっときゃよかった、やってよかった防災式

前回に引き続き、あなたの命を守るキーワード「避難」から『備えること』の防災式を考えましょう。

### ◆シリーズ「あなたならどうする？」パート12

いきなりですが、あなたにお聞きします。

「なぜ避難するのですか？」・・・どう答えますか？

人には、それぞれ考え方や色々な意見があると思います。私の答えは「**生きたい**」からです。そして、私には**生きることの権利**があり、合わせて**生きる為の責任**もあります。この権利と責任は、日本国憲法に明記されています。

「**生きることの権利**」は、自由に生きる権利(憲法第13条)として次のように明記されています。

『**すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする**』

一方「**生きる為の責任**」は、自分で命を守る責任(憲法第12条)として以下の通りです。

『**憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであって、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ**』

簡単に言えば、災害の為に備えることは、「生きる権利」だけではなく、「生きる為の責任」があるということなのです。ところがその責任を、負担・迷惑と思っているのが現状ではないでしょうか？

昨今、これだけの大災害や凶悪犯罪が発生する中で、「防災・防犯」と声高に唱えても、多くの人は興味をもとうとしない。それはなぜでしょうか？

過去の災害の教訓の中に、「あたかも正義のような顔をしてそれは潜んでいる」と考えられます。



過去の災害では、備えていた人にも、備えを怠っていた人にも、**同様に支援がもらえる。ボランティアが来てくれる。救助もしてもらえる。**それなら「備えなくても良いか」と思ってしまふ。実際、備えていた人が後回しになっている場合も少なからずあるのです。だったら「備えなくても良いよね」と楽観的で、安上がりを選択する人が多くなっています。確かにそうかも知れない。何十年・何百年・何千年に一度の大きな災害の為だけに、自分の大切なお金を掛けて備えをする。それも、いつ来るのか判らない迷惑なものなのに・・・なのです。

このように人々の意識を誘導している原因のひとつには、メディアを通して見る災害後の映像があります。

映し出されるのは、支援物資を無償で受け取る姿、困っていたらボランティアが来て支援活動をする姿、救出にいたっては、生きて救助される人の姿です。しかし、これらに潜む恐ろしい事実は報道されていないのです。それは何か？これらがすべて「**生き残った人々への支援であること**」と言う恐ろしい事実なのです。

現代の日本では、非常に優しいまちづくりが行われているように思われます。**備えても備えなくても、同様の支援が得られることです。**

例えば、「**宝くじ! 買っても買わなくても当たりますよ**」となれば、あなたは宝くじを買いますか？それと同じことが防災の現状です。



災害が発生すると、多くの人は「**被災者**」と一括りにされ、被災者はお客扱いされる。酷い場合には、物資が不足したりすると、支援者に罵声を浴びせたりもする。行政職員や自衛隊員、消防・救急隊員にも「助ける! 仕事だろ!」等と怒鳴り倒す。更には帰宅困難者も同じこと。自分が、備えの準備していなかったツケを他人にカバーさせる。これは自分が備えを怠っていたことをそっちのけにしておいて、あたかも自分の権利だけを主張する恥ずかしい行為です。行政職員、自衛隊員、消防・救急隊員等の方々も同じ被災者である場合も多く、そのような悲惨な中でも備えていた上に災害時でも頑張る人も多くいる。備えていると「何が起こり、何がどう変わるのか」が理解できますが、何もせずに備えていなかったツケを他人に転嫁する。「**宝くじを買わなくても当たる**」と本気で思っていたのでしょうか。

「**防災の宝くじ**」は、買ってあげば(防災活動しておけば)、限りなく命を守ることに繋がる「**大当たり**」がもれなく付いてくるのです。あなたの命だけではなく、あなたの大切な人の命をも守ることができる。こんなに素晴らしい「**大当たり**」にも関わらず、防災の宝くじを買わない人が多い(防災活動しない・備えない人が多い)。

私の「**生きたい**」という答えは、たった一人で生き残ることではなく、私の大切な**家族や友達**と、これからもやりたいこと、話したいことが沢山ある。だから私は「**生きたい**」のです。

「避難」「備え」をするかしないかは、あなた次第! そして「命を守る」これもあなたにしかできないことなのです。「**生きること**」は、私たちの「**不断の努力**」によって担保されるのではないのでしょうか。

今回の防災式は、「**生き残りたいと真剣に思う人が、助け合い、共に生き残ることのできるシステムを構築する**」その為にも「**あいさつからはじめる防災の宝くじをみんなで買ひましよう(活動しましよう)**!」

## 自治会からのお知らせ

### 「ふれあいもちつき大会」のお知らせ

今年も防災会とコラボして「世代間交流事業」「ひょうご安全の日推進事業」の一環として、炊き出し訓練を兼ねた恒例の「ふれあいもちつき大会」を以下のとおり実施します。

**日時: 12月21日(土) 午前11時から**  
**場所: B・C棟間 ファイヤーレーン**



「地域の子どもは地域で育てる」をモットーに、最近めったに体験できない「おもちつき」をグリーンの子ども達に体験してもらいます。また、世代間交流の一環としてグリーンシティのお年寄りから子ども達に「おもちつき」のノウハウを伝授してください。

**防災・減災は地域のコミュニティから始まります。**

グリーンシティに居住する皆さんのふれあいの場として、たくさんの方々参加をお待ちしています。

特に「つき手」不足のため若い男性(中高生もOK)の参加と「おもちつき」に詳しいお年寄りの参加を期待しております。

今年もグリーンシティ名物**いか焼き**も焼きます。お楽しみに!

今年はNHKが取材に来るそうです。



### 「ふれあいバスツアー」のご案内

来年の3月8日(土)に「ふれあいバスツアー」を以下のとおり実施します。今回は科学をテーマに計画しました。(赤穂海洋科学館→そうめんの里(昼食)→兵庫県立こどもの館)小学生向けの内容にしています。参加希望の方は管理事務所に申し込んでください。

#### 「ふれあいバスツアー」実施要領

- 開催日: 平成26年3月8日(土)
- 参加資格: グリーンシティ居住者  
小学生以下は保護者同伴
- 募集人数: 35名(先着順)
- 参加費用: 1,500円/人(当日徴収)
- 申込要領: 後日案内を配布



## こんなこと知ってましたか?

子どもの「遊び」の原点は「探索活動」“これな～に”“あれな～に”が遊びの始まりと云われています。3～4か月の赤ちゃんが、あたかも自分の手をじっと眺めているように見えることがあります。赤ちゃんには、まだ自分のものとそれ以外のものという区別が十分についているわけではなく、自分の手も、たぶん“これは何だろう?”という気持ちで見ているようです。そして、口にもってきて、指をしゃぶってみる。「おっ、これは、しゃぶりたいた時にしゃぶれるものなんだ! ヤッタ～!!」になるのでしょうか?!

お座りができるようになる頃には、おもちゃをつかんだり、つまんだり・・・両手に持ったおもちゃを打ち合わせて音を楽しんだり、わざと物を落として捨ったり・・・など指もずいぶん使えるようになってきて、そのうち「あそこには何かおもしろいものがある。よし、行ってみよう!」と欲しいものをめがけて、ハイハイし始めると、行動範囲も広がり、好奇心はますますふくらんでいきますよね。

歩行できるようになると、目の位置が高くなると共に、興味の世界がさらに広がり、見るもの全てが“これな～に”“あれな～に”の対象になるわけです。とりあえず、手でさわってみる、口に入れてみる、転がしてみる、といったことをしたがる。このような行動が「探索活動」と呼ばれています。「遊び」=「おもちゃを使って遊ぶ」と大人は考えがちですが、遊びの原点は“これな～に”“あれな～に”という好奇心から生まれる「探索活動」だったんですね。歩行が安定してくると、本格的な探索活動が始まり、この時期、自分をとりまく世界はどうなっているのだろうか?とあちこち探索しながらワクワクした毎日をお過ごしているのでしょうか?!

2歳近くになると、身体の機能も発達してくるため、自分ができることを試してみたくなって、走る高い所に登ったり、飛び降りたり・・・など自分ができる!! ことがうれしくてたまらないのでしょうか。目的のためでなく、そのこと自体を楽しんでいる!! これが人間の本来の姿なのではないでしょうか?!



## 中学校PTAからのお知らせ

### 「廃品回収」のお知らせ

日時: 1月19日(日)

雨天: 1月26日(日)

当日の朝8時までにお出してください。

ご協力よろしく申し上げます。

## 少年団からのお知らせ

### 「お楽しみ会」のお知らせ

開催日: 平成26年1月25日(土) \*雨天決行

場所: ジョイプラザ

ボウリングを2ゲームするよ!!



ご意見、ご要望などをどしどしお書きください。(ご記名をお願いします)

